

研究紀要「第60集」の発刊にあたって

令和5年度、田川郡教育研究所研究紀要がまとまり、発刊の運びとなりました。忙しい業務をこなしながら、貴重な実践をまとめてくださいました各教科等部会の研究員の皆様、紀要のとりまとめを担当された関係の皆様にご感謝申し上げます。

本紀要は、「生きる力」を育む学習指導の研究をテーマに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に焦点を当てています。また、それが、令和の日本型学校教育の充実に繋がる研究であることを自負しています。

教育は、単なる知識や技能の習得にとどまらず、子ども達が社会で主体的に生き抜く力を養うことが求められます。そのためには、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善が不可欠です。本紀要では、そうした視点から様々な研究成果や実践事例を取り上げ、学校教育の更なる充実にに向けた道筋が示されています。

本年度は、コロナ渦があけて久しぶりに教科等研究部会が開催され、当研究所としての研究員研修会を開催し、各教科の授業実践が行われました。大変喜ばしいことです。この機会を通じて、研究員をはじめ先生方は子ども一人ひとりの可能性を引き出すために、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるための取り組みを行ってこられました。そして、それが「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につながってきたことを実感しています。

教師は、学びの伴奏者として、子ども達の成長と発展を支援する重要な役割を果たしています。本紀要のなかにも、教師の熱意と努力が垣間見える部分がたくさんあります。この紀要を読まれ、追試を行っていただくことで、さらなる授業の質の向上と子どもの学びの充実が行われることと思います。

最後に、本紀要が、本郡の学校教育の更なる進化と発展に貢献し、子どもたちが豊かな人間性を育み、社会に貢献する力を身につける一助となることを願ってやみません。

令和6年3月

田川郡教育研究所 所長 長野 修